

臨床検査医学 【Laboratory Medicine】

担当責任者（医学部長）

ねらい

1. 医師と検査と患者の一連の関係において、検査に対する医師としての基本的理念を理解する。
2. 臨床検査は問診、診察とともに臨床の場において必須の要件であり、診断体系における臨床検査医学の位置づけ及び各種臨床検査の意義を学ぶ。
3. 産業医学や労働衛生における臨床検査の利用を学ぶ。

学修目標

1. 臨床検査における基準値、病態判断値の概念、検査成績に及ぼす諸因子、検体採取法や精度管理について説明できる。(Ⅱ-6)
2. 検査の特性(感度、特異度、偽陽性、偽陰性、検査前確率、検査後確率、オッズ比、尤度比)を説明できる。(Ⅱ-11)
3. 各検査項目毎にその検査の目的、原理、およびデータの意味を説明できる。(Ⅱ-6)
4. 臨床検査により、疾病の診断、病態や重症度の把握、治療方針の決定や予後の推定などを評価できる。(Ⅱ-6)
5. 医療経済を取り巻く環境が年々厳しくなる現状を把握し無駄な検査をしない適応力を習得する。(Ⅱ-13)
6. 健康診断における臨床検査項目の選択や解釈ができる。また個人データの経時的集積により、潜在的疾患の早期発見や予防に関する評価ができる。(Ⅱ-11)

事前事後学習の方法

1. シラバスに記載されている授業項目について、参考書などで事前に予習しておくこと。
2. 配布された講義テキストを熟読して講義内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

科目試験(100点満点換算)の結果を基に出席状況を加味し、A、B、C、D、Fの5段階評価で総合的に判断する。

○ 教 科 書

高木康監修「標準臨床検査医学」第5版 2023年(医学書院)

○ 参 考 書

1. 金井正光監修「臨床検査法提要」改訂第35版 2020年（金原出版）
2. 大西宏明、Medical Practice編集委員会編「臨床検査ガイド」2025年改訂版(文光堂)
3. 櫻林郁之介、熊坂一成監修「臨床検査項目辞典」2008年(医歯薬出版)

年月日	曜日	時限	授 業 項 目 (内 容)	コアカリ項目				担 当 者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.7.17	木	1・2	臨床検査医学総論、検査の特性、基準値・カットオフ値	CS	02	03	01-07	島尻 正平(第2病理学)
7.24	木	7・8	腹部超音波検査	CS	02	03	01-07	柴田 道彦(第3内科学)
7.25	金	3・4	尿・糞便検査	CS	02	03	01-07	杉田 佳弘(泌尿器科学)
9.2	火	1・2	血液学的検査	CS	02	03	01-07	山口 絢子 (臨床検査・輸血部)
9.2	火	3・4	生化学的検査	CS	02	03	01-07	山口 絢子 (臨床検査・輸血部)
9.5	金	1・2	脳脊髄液検査、脳波および大脳誘発電位	CS	02	03	01-07	大成 圭子(神経内科学)
9.5	金	5・6	免疫学的検査	CS	02	03	01-07	山口 絢子 (臨床検査・輸血部)
9.8	月	1・2	生理機能検査(心電図、心エコーなど)	CS	02	03	01-07	永田 泰史 (第2内科学)
9.9	火	5・6	輸血と移植	CS	02	04	38-41	山口 絢子 (臨床検査・輸血部)
9.18	木	5・6	内視鏡を用いる検査	CS	02	03	01-07	渡邊 龍之(第3内科学)
9.22	月	1・2	呼吸機能検査・動脈血ガス分析など	CS	02	03	01-07	池上 博昭(呼吸器内科学)
10.1	水	3	科目試験					